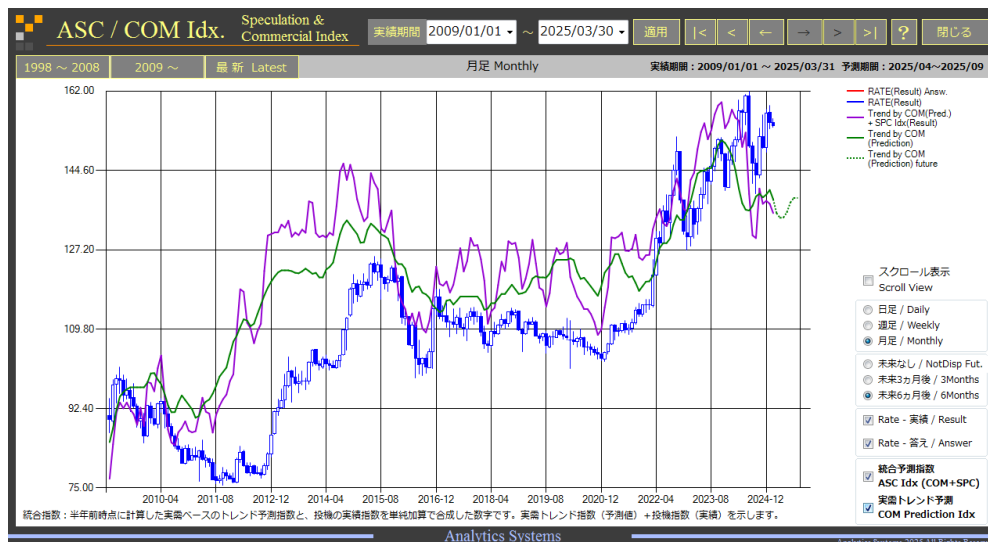


「為替が動いた原因は何だろう」・「この値動きは戻るのか、戻らないのか」と疑問に思ったことはありませんか？

[Analytics Systems FXSE \(アナリティクス・システムズ・エフエックス・エス・イー\)](#)が、疑問の解決をお手伝いします。

- ・ 為替レートを動かす2大要素「実需」と「投機」が為替に与えた影響を、AI推測で可視化
- ・ 各要素の特性（値動きの戻りがない実需、戻りがある投機）から、今後の予測をサポート
- ・ 先行指標の意味合いもある「実需」要素については半年後までの予測も提供、
3ヶ月後上下予測の成功率は78% ※

※成功率の計算方法は、別冊「[FXSE独自指数の成績（2）実需指数/COM 3ヶ月・6ヶ月予測成功率](#)」をご覧ください。



FXSE分析を開発した *Analytics Systems Laboratories* は、流体抵抗予測計算、コンピュータ並列計算の私設研究所として1999年に設立されました。その後2007年に金融分析を開始、以降18年に渡り研究を行っております。

巻末の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。
※画面の一部が最新版と異なる箇所がありますが、表示される指数は同一です。

Analytics Systems Laboratories

日本アナシス合同会社
Nihon AnaSys LLC



この値動き、何で動いたんだろう、戻るんだろうか、戻らないんだろうか...
中長期的に、これからどのように推移するのだろう...

・・・Analytics Systems FXSE（エフエックス・エス・イー）が、
分析と予測をお手伝いします

Analytics Systems FXSE は、為替レートを動かす2大要素である「実需」と「投機」がドル円に与えたインパクトを、AIによる推測で可視化（指数化）して提供します。

また、先行指標の意味合いもある「実需」要素の指数は半年後までの予測値も提供しており、3ヶ月後上下予測の成功率（過去26年平均値）は78%です。

実需と投機は未来に与える影響が異なりますので、為替を動かした要素の推測は、次の動きを考える有力な手がかりになります。

皆様の為替トレーディングやアドバイザー業務に、
Analytics Systems FXSE をぜひご活用ください。

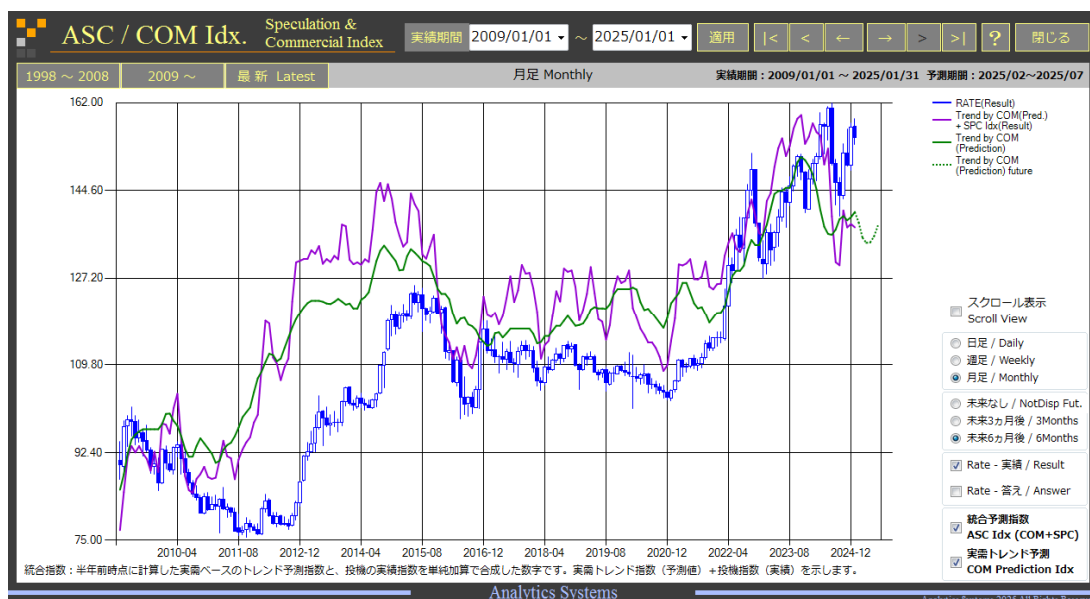
FXSEが提供する独自の指数

Indexes provided by FXSE

実需と投機の2要素で、為替の動きの大部分を表現

過去15年分のFXSE独自指数です。上下動の高い合致率をご覧くださいでしょうか？
緑のグラフが「実需」の為替インパクト予測値、紫のグラフが「実需」と「投機」の合成値です。

【緑のグラフ〔実需指数〕は、半年前の時点で予測していた数値です】



ここ15年の長期的な円安傾向は実需、短期的な上下動は投機と、
FXSEの指数で為替の動きの大部分を表現できることが観察できます。

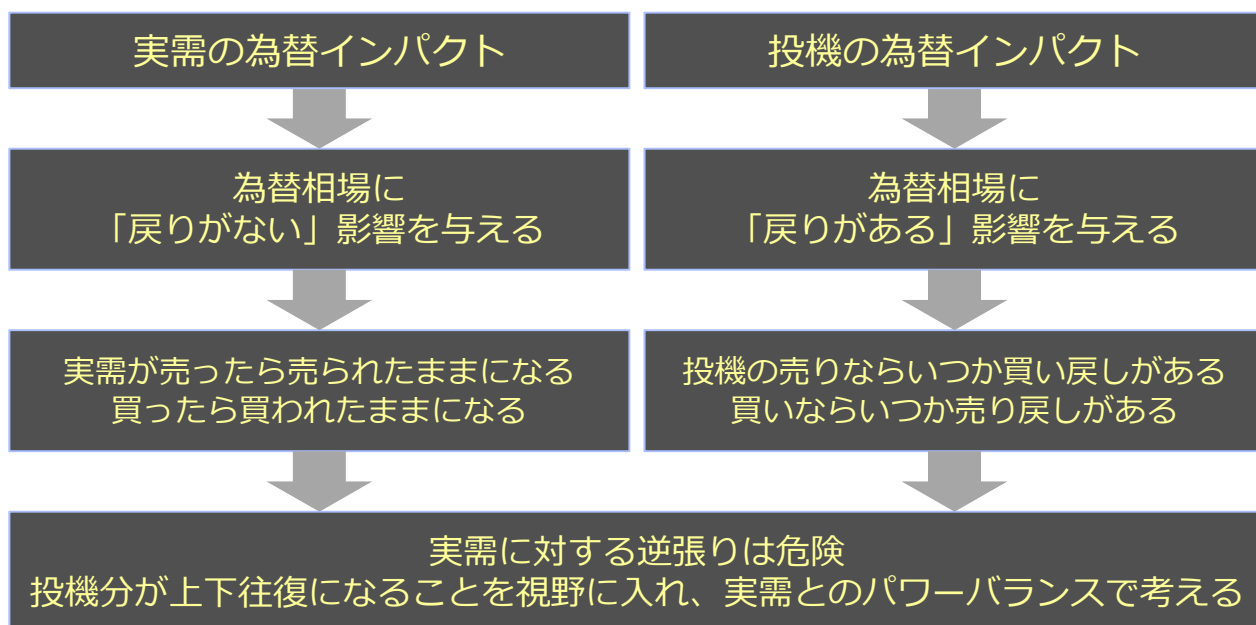


FXSE分析でできること

Analysis by FXSE

冒頭でも触れていますが、FXSEでは「実需」・「投機」の各々がドル円為替レートに与えた影響（為替インパクト）の推測値を、指数として提供します。

実需と投機には異なる性質がありますので、その性質を利用して次の一手を考えることができます。



このように、同じ円安・円高でも、動いた理由を知ることによって、次の手を変えることができます。FXSEが提供する独自の指数は、その理由を推測する手助けを行います。

FXSE分析の活用例

Indexes provided by FXSE

為替予約の判断材料に

FXSEの実需要素可視化で提供する半年後までの実需予測は、為替予約の規模と方向を検討する一助になります。為替予約で役立つかどうかの指標となる「上下予測の成功率」は、過去26年の平均で3ヶ月予測が78.2%、6ヶ月予測が75.6%と、高い水準を誇っています。

FX取引の参考材料に

FX取引を行う上で、為替が動いた理由の判断（この値動き、戻るか戻らないか）と、これからの戻らない動き・戻る動きの推測は非常に重要です。FXSEが提供する「〈戻りがない〉実需の6ヶ月予測」と「〈戻りのある〉投機の推移」は、これらを推測する手掛かりになります。逆張りすべきか順張りすべきか、どの程度の利幅をどの程度の時間軸で狙うか、あるいは現在の含み損を耐久すべきか諦めるべきか、等の判断にご活用ください。

為替アドバイザー業務に

為替が動いた理由を「実需・投機・それ以外」で推測でき、かつ先行指標の意味合いを持つ実需の6ヶ月予測を提供するFXSE分析は、為替に関するレポート作成等に有用な材料を提供します。



FXSEが提供する指数データ

Indexes provided by FXSE

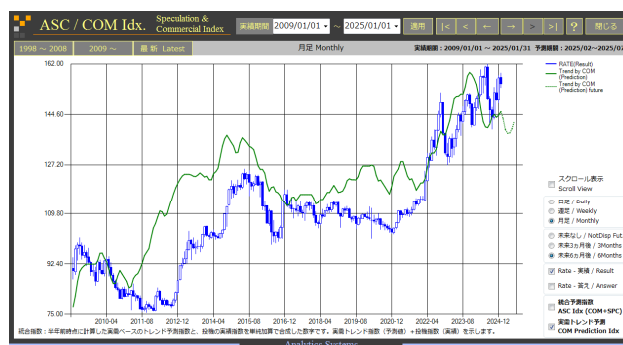
FXSEが提供する分析用の指数は、次の3種類です。

1. 実需指数/COM …… 実需の半年後までの予測値を提供します
(過去の方は、半年前の時点で予測していた数値を提供します)
2. 投機指数/SPC …… 投機の実績値を提供します ⇒ 実需は予測、投機は実績です
3. 実需・投機合成指数/ASC …… 実需と投機の合成値を提供します (未来分はございません)

1. 実需指数/COM

実需は、貿易やサービスなどの決済に使われる為替です。通常は支払いに使用すると戻ってこないお金ですので、為替相場には一方通行（動いた後、戻らない）の影響を与えます。

FXSEでは、実需が為替に影響を与えるインパクトの推測値として、半年後までの予測で「実需指数/COM」を提供します。中長期推移の予測や、投機を元にした取引を行う際の、円高/円安方向の安全性チェックにお役立てください。



2. 投機指数/SPC

投機は、売った・買った後に利益・損失確定の為に買い戻し・売り戻しがあります。そのため、為替相場に与える影響は一方通行ではなく、概ね1~6ヶ月以内に戻りが生じます。

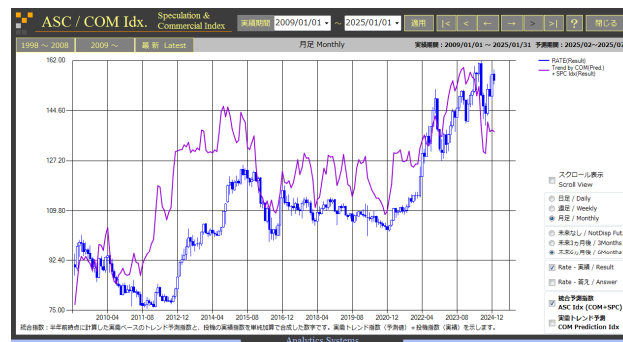
FXSEでは、投機が為替に影響を与えたインパクトの推測値として、週足の実績値「投機指数/SPC」を提供します。実需指数で方向の先行き安全性を確認した上で、1~6ヶ月の、短中期的な動きを利用した取引にお役立てください。



3. 実需・投機合成指数/ASC

実需指数/COMと、投機指数/SPCを合成した指数「ASC」を提供しています。実需・投機の2要素が組み合わされて、どのように為替に影響したのかを示す指数です。

実需・投機の2大要素が為替に与えたインパクト（推測値）と為替レートを比較することで、2大要素以外の要素で値動きが起こっていないか確認することができます。





FXSE指数の成績

Index performance

FXSE分析が使用に値するかどうかをご判断頂く材料として、過去の成績をご案内します。あくまで過去の成績であり未来の精度を保証するものではありませんが、ご参考頂けますと幸いです。

実需指数（実需予測） 4週間・9週間損失回避率

FX取引など、短期取引向けの成績指標です。

過去26年平均値：91.5% ※ 判定期間：9週間、判定利益幅：50pips の成績です
過去10年平均値：93.5%

成績指標の計算方法や各年の成績については、下記別冊資料またはウェブサイトをご覧ください。

別冊資料：[FXSE独自指数の成績（1）実需指数/COM 4週間・9週間損失回避率](#)

URL：<https://nihon-anasys.co.jp/fxse-result-0/#Result1>

実需指数（実需予測） 3ヶ月・6ヶ月上下予測の成功率

為替予約など、中長期取引向けの成績指標です。

予測実施月のレート中央値と、3ヶ月後・6ヶ月後のレート月足を比較して計算されております。

<3ヶ月予測>

過去26年平均値：78.2%
過去10年平均値：76.7%

<6ヶ月予測>

過去26年平均値：75.6%
過去10年平均値：75.0%

成績指標の計算方法や各年の成績については、下記別冊資料またはウェブサイトをご覧ください。

別冊資料：[FXSE独自指数の成績（2）実需指数/COM 3ヶ月・6ヶ月予測成功率](#)

URL：<https://nihon-anasys.co.jp/fxse-result-0/#Result2>

過去の可視化状況について

FXSE分析により「実需」と「投機」が過去の様々な局面でどのように可視化されていたのかご確認いただける様、過去25年分のチャートも公開しております。皆様のご経験やご記憶と併せて、FXSE分析がお役に立てるかどうかご判断いただければ幸いです。

下記別冊資料またはウェブサイトをご覧ください。

別冊資料：[FXSE独自指数の成績（3）過去25年分のチャートと解説](#)

URL：<https://nihon-anasys.co.jp/fxse-result-0/#Result3>

分析理論

実需と投機の2要素で、為替の動きの大部分を再現できる理由

実需のメインはモノやサービスの購入対価支払いによる為替取引ですが、市場金利や金利・金融政策も「実需によって経済が動いた結果に対するアクション」ですので、実需の派生と考える事ができます。保険・年金による外債・外国株投資の開始と終了についても、金利・経済の結果を見て動く事を考えるとやはり実需の派生であると言えます。

つまり、ほとんどの要素の根底に実需がある事から、実需がカバーできる範囲が非常に広がっていると考えています。

また、実需・投機以外の要素として「為替介入」もありますが、為替介入は「投機ポジションが大きく円売り・円買いどちらかに傾いた際、解消する方向に介入する」ケースが多い事から、投機の要素と一緒に判断できると考えています。

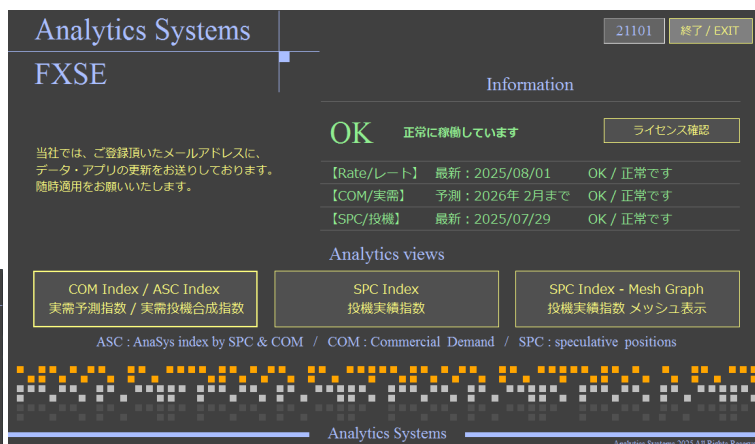


FXSEの画面

Features and Screenshots

メインメニュー・ライセンス情報

- ・各データ更新日と遅延有無の表示
 - ・当社からのメッセージ
 - ・メニューボタン
- 近日ライセンス満了の通知など、
当社からのメッセージも表示します。



【ライセンス情報・ご利用契約ウィンドウ】

- ・ライセンスID
- ・お客様ご利用PC識別情報

実需・投機合成指数/ASC 実需指数/COM

- ・日足/週足/月足切り替えが可能
- ・未来表示有無・過去の状態を再現した表示も可能
- ・緑のライン：実需指数/COM
- ・紫のライン：実需・投機合成指数/ASC

- ・実需指数/COMは全て予測値で、
 - ① 半年前時点で予測していた値
 - ② 半年後までの予測
 を提供します
- ・参照用の為替レートはリアルタイムではなく、
前週の終値が最新となります
- ・提供する通貨はドル円のみです





FXSEの画面

Features and Screenshots

投機指数/SPC

- ・週足（水曜日起点の週足です）
- ・円高安の偏り指数の他、円高側指数、円安側指数、投機総数も表示可能
- ・過去最大値に対する%での表示も可能

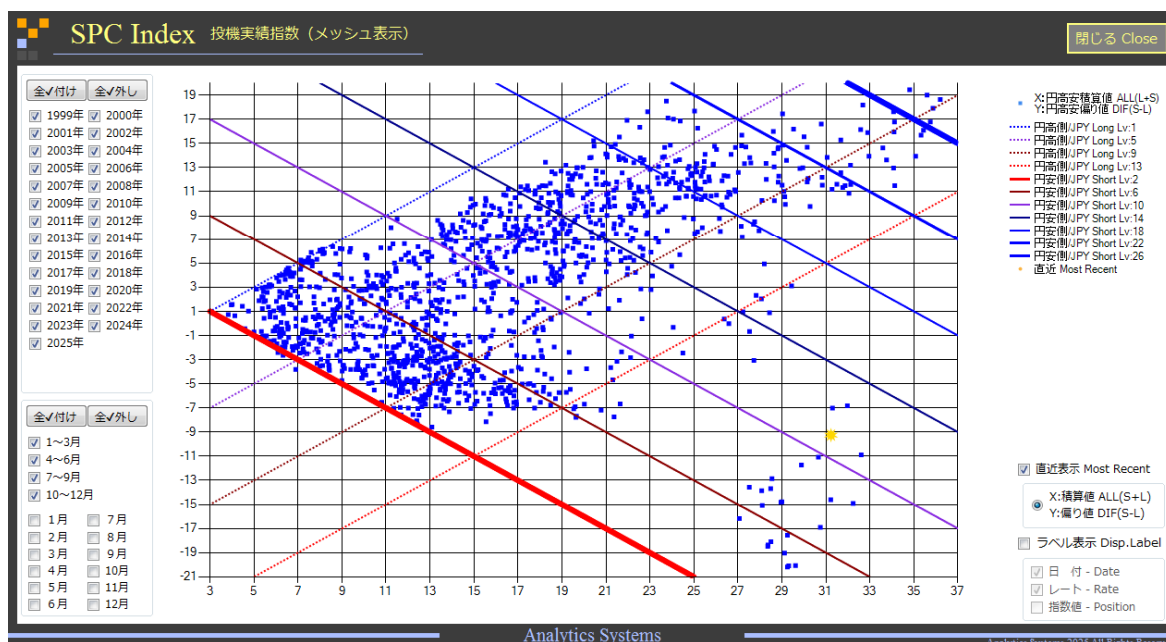
- ・予測の提供はありません
- ・リアルタイムではなく、原則、前週の水曜日(朝)の時点のデータが最新となります
- ・提供する通貨はドル円のみです



投機指数/SPC «メッシュ表示»

- ・横軸：投機総数、縦軸：偏り指数
投機の全体総数と、その円高・円安の偏り状況をメッシュ状に表示します

- ・リアルタイムではなく、原則、前週の水曜日(朝)の時点のデータが最新となります
- ・過去の局面と現在の状況を比較する事が可能です





サービスのご利用について

Use of our Services

当サービスは、PC 1 台ごと1年間のご契約となり、ご登録いただいたPCのみでご利用頂けます。PCのIDを当社にご連絡頂きますと、ライセンスIDと紐付けた分析データをお送りいたします。

週に1度の更新もメールでご連絡いたしますので、メールの送受信ができる環境をご準備ください。

適合業務

為替トレーダー、アナリスト、アドバイザー

当サービスのご活用には、金融・為替相場について一定の知識が必要です。個人の方もご契約いただけます。

価格

PC1台で、6ヵ月間ご利用可能なサブスクリプション料金

180,000円（消費税別） 消費税10%込み総額：198,000円

PC1台ごとにサブスクリプションご契約とご使用開始時のアクティベーションが必要です。当サービスは半年後までの推移予測を提供する関係上、料金は一括前払いのみとなります。予めご了承ください。

お客様にご準備いただくもの

- ・ダウンロードリンクが記載された、当社からの電子メールを送受信できる環境をご準備ください。メール送信元のドメインは「nihon-anasys.co.jp」です。
- ・当社が指定するウェブサイトアクセスして、ファイルのダウンロードが可能な環境をご準備ください。
- ・当サービスで使用するソフトウェアを実行できるPCをご準備ください。
※詳しいPC要件は次項をご覧ください。

動作PC環境

Microsoft® Windows10 または Windows11 を搭載した PC

- ・Windows10 / 11は、intel/AMD、32bit/64bit、Home/Pro/Enterprise いずれも可。ARMプロセッサ版のみ正式サポート外です。
- ・.Net Framework 4.0以降、PowerShell Ver.5以降が必要です。
(通常、Windows 10 / 11 に標準で含まれています)
- ・画面解像度は1280×768ピクセル以上が必要です。
クリアなチャートでご覧いただくために、画面の拡大・縮小なしでのご利用をお勧めします。
- ・ウィルス対策ソフトウェアの当社製ソフトウェア除外設定が必要になる場合がございます。



お申し込みからご利用開始まで

From Application to Start of Service

FXSEサービスのお申し込みからご利用開始までの手順は、以下の通りとなっております。
お客様にご準備頂く内容がございますので、お申込み前にご確認ください。

サービスご利用規約をご確認ください

当サービスの定型約款を必ずご確認ください。
<https://nihon-anasys.co.jp/fxse-terms-of-use/>

お申し込みから
ご利用開始まで、

概ね **7** 営業日
となっております。

※当社から請求書をご発行後、
翌営業日にお振込みいただき、
翌々営業日に当社にて着金
確認できた場合です。

FXSEを使用するPCをご準備ください

ご使用PCをご登録後、50日間は一切変更できませんので
ご注意ください。

当社サイトからお申し込みください

お申し込みは下記のウェブサイトからお願いいたします。
<https://nihon-anasys.co.jp/inquiry/>

お支払をお願いします

当社銀行口座宛ての一括お振込み払いとなっております。
他のお支払方法はご利用いただけません。

当社から、メールにて
PDFファイルの請求書をお送りいたします

FXSE PCチェッカーの導入と起動

ご使用予定のPCに関する環境チェックと、当社登録用の
PC固有情報の抽出を行います。

当社から、専用ソフトの
ダウンロードリンクをお送りいたします

PCチェッカー起動結果をご連絡ください

PCチェッカーの実行結果をコピーして、当社宛てに
メール、もしくはお問合せサイトからご送信ください。

当社から、FXSE本体の
ダウンロードリンクをお送りいたします

FXSE 本体の導入（ご利用開始です）

これ以降は週に1度のデータ更新をお送りいたします。
適宜ご適用のうえご利用ください。



重要事項

Important Notice

ご契約・ご利用条件について

FXSEの利用契約は当社が作成した定型約款「FXSEソフトウェア・サービスご利用規約」が適用されます。FXSEのご利用を申し込まれた場合、定型約款を契約の内容とする旨に合意したとみなされます。

定型約款「FXSEソフトウェア・サービスご利用規約」の内容は、下記ウェブサイト「FXSEソフトウェア・サービスご利用規約」からご確認ください。

<https://nihon-anasys.co.jp/fxse-terms-of-use/>

当資料をご利用にあたっての注意事項等

当資料は、日本アナシス合同会社および私設研究所「Analytics Systems Laboratories」（以下、両組織を総称して「アナリティクス・システムズ」といいます）が提供しています。

当資料に掲載されている情報には、予測など将来の見通しに関する事項が含まれている場合があります。こうした事項には一定のリスクや不確実性などが含まれており、経済情勢や市場の動向の変化等により、実際の結果とは必ずしも一致するものではありません。

当資料には過去の実績精度について具体的な数字を示している箇所がありますが、今現在および未来の精度を保証するものではありません。

当資料に掲載されている情報には、アナリティクス・システムズ独自または一般的に認知されていない見解が含まれている場合があります。見解の掲載に際して、アナリティクス・システムズではその信頼性を客観的な根拠となるデータで確認し情報提供する様に努めておりますが、見解が事実である事を証明する義務はありません。

当資料掲載の情報は、利用者に特定の取引を行うことを推奨するものではありません。当資料掲載の情報は、有価証券、金融商品の推奨もしくはその売買の申込み・申込みの勧誘、または特定の投資戦略をとる・ヘッジ含む投資行為を行うことの勧誘とみなされてはならないものとします。

当資料に掲載している情報には細心の注意を払っておりますが、アナリティクス・システムズは、情報の内容の正確性、完全性、現在の情勢・状況に対応していること（アップ・ツー・デート）、特定目的への適合性、権利の不侵害について、明示・黙示を問わず、一切保証せず責任を負わないものとします。

さらに、アナリティクス・システムズは、いかなる場合においても、その可能性について告知されていたかどうかを問わず、特別損害、間接損害、付随損害、結果損害を賠償する義務を負いません。当資料の内容に関して、アナリティクス・システムズに賠償責任は存在せず、使用についての賠償責任もアナリティクス・システムズにはありません。利用者は、利用者が当資料掲載の内容を依拠とされた場合でも、アナリティクス・システムズは一切の責任・賠償義務を負わない事をご承知ください。

当資料に含まれる著作物（図解・チャート図・文章等の情報の全てを含みますが、これらに限るものではありません）は、特に明示された場合を除いて、アナリティクス・システムズが所有しております。

当資料に掲載されているアナリティクス・システムズの商品・サービス名称はアナリティクス・システムズの商標または登録商標です。その他の社名、商品名、サービス名などは、各社の商号、商標または登録商標です。

Analytics Systemsについて

About Our Company

当社および研究所のご案内

下記ウェブサイト「Analytics Systems について」ページをご覧ください。

また、「資料ダウンロード」ページより、当社・研究所のご案内をダウンロード頂けます。

<https://nihon-anasys.co.jp/company-overview/>

お問い合わせは・・・

下記ウェブサイト「Analytics Systems お問い合わせ」ページから、お問い合わせください。

<https://nihon-anasys.co.jp/inquiry/>